

学校に華やかなお雛様の七段飾り

子育て支援ネットワークの船木先生からのご紹介で、太子町商工会女性部様からお雛様の七段飾りを寄付していただきました。我々が飾り付けている脇で、1・2年生の児童は「明かりをつけましょぼんぼりに～」と歌っていました。「これは何?」「これは誰?」と人形の人物や持ち物にも興味津々でした。

さらに、PTAの仲田様から桃の花枝をいただきました。まさに「桃の節句」となりました。地域や季節の伝統行事を味わうことは、日本人にとってとても大事なことだと思います。今後も、伝統文化や行事を大切に子供たちに伝えて参ります。次は5月の節句「こいのぼり」でしょうか。



なわとび大会

2月20日(火)には全校でなわとび大会を実施しました。3分間で前跳びができた回数、自分で選んだ種目で跳べた回数を記録する個人種目。それぞれが目標回数を決めて挑戦しました。最高記録を出した児童、いつもより少なかった児童それぞれですが、みんな一生懸命がんばっていました。縦割り班対抗長縄跳びでは、1年生から6年生まで3チームに分かれて跳びました。子供たちは普通にやっていたですが、運動能力も身長も違う1年生と6年生と一緒に跳ぶなんて・・・でも、本校の1・2年生は、お兄さんお姉さんと同じスピードで長縄に入っ出て出ることができるんです！小規模校の子供たちの運動能力は計り知れません。でも、そこには、後ろからそっと背中を押して縄に入るタイミングを取ってあげる上級生がいました。体育館からの帰りに、3年生達が「笑ってる顔みたいな雲だ～！」子どもの感性は素敵です。



最後の授業参観

2月22日(木)には、今年度最後の授業参観・学年PTA・PTA役員会を実施しました。今年一年間の学習のまとめをお家の方に見てもらおうと、子供たちは朝からソワソワ。子供たちにとって、家の人に「学校での様子を見てもらう」事は、恥ずかしいけれどうれしいものだと授業参観の度に思います。今年度は、参観後に「読書推進親子活動」として、図書館支援員の佐川先生を講師に迎え、親子で「葉づくり」を行いました。子供たちと保護者の方がおしゃべりしながら、時には鋭いツッコミを入れながら楽しく活動して、あっという間に素敵な葉が完成しました。



卒業に向けて

6年生は、小学校卒業に向けて様々なボランティア活動をしています。体育館床のワックス掛けや中庭にあるベンチのペンキ塗り、学校案内板にも文字を書িয়েくれました。ありがとう。もうすぐ卒業、おめでとうけれど寂しいです。残りの日々を大切に過ごしていきましょう。



【お願い】

来年度から、子供たちの体力向上のためできるだけ徒歩での登校をお願いしています。ご近所の皆様には、児童を見かけたら声をかけていただいたり一緒に散歩していただいたり、地元の子供たちと触れ合っていただければ幸いです。